スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県村上市

自 治 体 名 ： 新潟県村上市
担 当 課 名 ： 教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： 0254-72-6882

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	1,174.17㎢
人口	51,142人
公立中学校数	7校
公立中学校生徒数	1,076人
部活動数 （運動部活動のみ）	34部活 令和7年4月時点
地域クラブ活動数	25クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

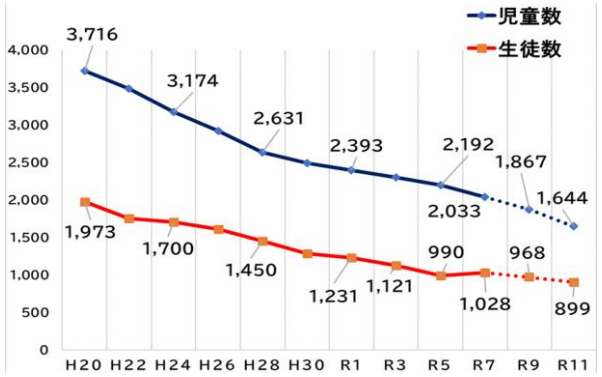
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

村上市は児童・生徒数の人口が急速な減少状況で、10年前の生徒数は半減している。さらにこの先10年後にはさらに半減すると推測される。

村上市神林地区では15年前から部活動改革に取組、令和4年度より全市展開を始め、現在25の地域クラブ（融合型部活動）が活動している。

現在、学校部活動は全て廃止となった学校や週に1日だけ残っている学校もあり、今年度をもって市内全ての中学校で部活動はなくなり、令和8年度から地域クラブ活動に完全展開する。

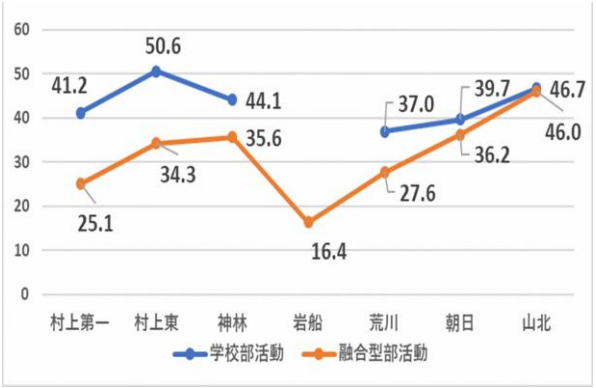
児童・生徒の人口推移と推計



市内中学校学校部活動の活動状況（令和7年4月）

中学校名	内容	運動部										文化部	
		バスケットボール	バレーボール	軟式野球	卓球	ソフトテニス	陸上	サッカー	バドミントン	剣道	柔道	吹奏楽	美術
村上第一	活動日	木	火木金土		火木金土		火木金	火木金	火木金			火木金土	
	生徒数	18	20		18		19	6	25			21	
村上東	活動日	火木金	月木土	月火木金土	月火木金土			月			月火金	月火木金土	火木金
	生徒数	24	14	16	9			18			10	20	7
岩船	活動日	R6中体連大会後全ての運動部活動廃止										月火木金	
	生徒数											8	
神林	活動日	火金	金	火木	月木金	R7中体連大会後から全ての運動部活動廃止						月火木金土	
	生徒数	20	23	9	26							28	
荒川	活動日	火木	月火金		月	月火木金土	月火木金土	月火木金土	木土	火金		月火木金土	
	生徒数	2	14		18	15	10	4	6	5		10	
朝日	活動日	金	月	月火木	月火木金土	R7中体連大会後から卓球部以外の運動部活動廃止						月火木金土	
	生徒数	5	12	20	19							25	
さんぼく	活動日	月火木金土		月火木金土								月火木金	
	生徒数	20		8								7	

学校部活動と地域クラブ活動の参加状況（令和7年4月）



今年度4月現在の地域クラブ活動の参加率は半数に満たない。これは今始まったことではなく、学校部活動の加入が任意となった時からで学校部活動の参加率も半数以下だった。この状況をずっと放置してきた訳で、ここで、来年度から学校部活動がなくなることを受け、改めての放課後の在り方を考え、「誰一人取り残さない環境」に取組むこととした。

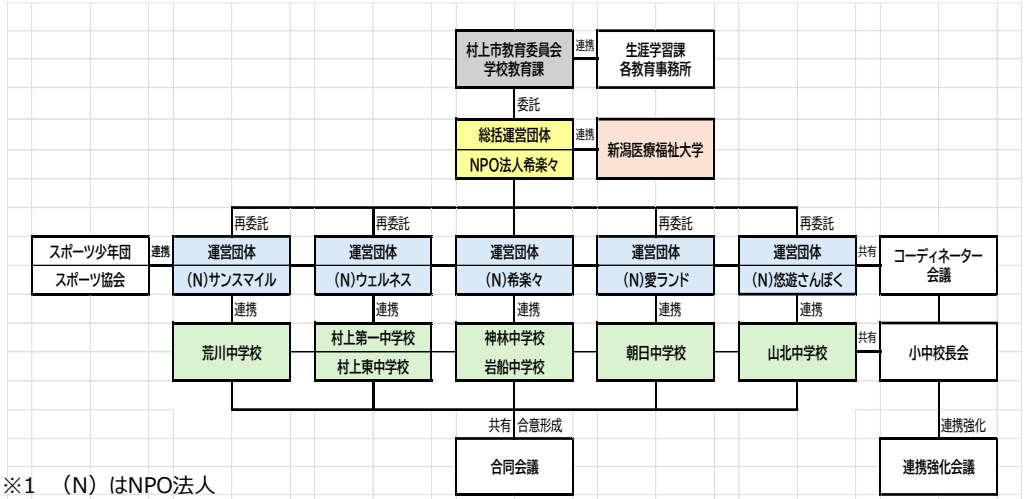
市内中学校長に、地域展開する方向の中で、中学校の放課後として活動することに違和感もあり、半数以上の生徒の放課後を再考することで合意形成した。国の方針で今は休日、そして平日と進めていく中で、この課題に必ず直面することが想定される。少し先行した立場として新たな価値に取組む。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



※1　(N) はNPO法人
※2　ウェルネス➡5エルネスむらかみ
　　サンスマイル➡サンスマイルあらかわ
　　愛ランド➡愛ランドあさひ

●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学校教育課）

・地域展開の方針決定、地域展開推進計画の改定
令和8年から学校部活動がなくなることから、それに伴う体制整備及び方針検討
・総括コーディネーターの配置
市全体の構想作成、地域展開に伴う体制整備の検討、要綱各種の作成

◉サブコーディネーター

・各総合型クラブにサブコーディネーターを配置
各地区における融合型部活動（地域クラブ活動）の総括管理

年間の事業スケジュール

月	内　容
4月	・地域クラブ活動（融合型部活動）始動 ・中学校PTA総会等で説明 ・指導者部会の開催
5月	・第1回コーディネーター会議の開催 ・指導者育成プログラム研修会（前期4回）開始
6月	・生涯学習課と打合せ ・広域担当者連携協議会　中間とりまとめ
7月	・文化部打合せ ・第2回コーディネーター会議の開催
8月	・校長会で説明
9月	・校長会で説明 ・第3回コーディネーター会議の開催 ・小学生保護者説明の開催（13校　2月まで） ・吹奏楽意見交換会の開催　中間とりまとめ
10月	・各中学校打合せ ・第4回コーディネーター会議の開催 ・指導者育成プログラム研修会（後期4回）開催
11月	・剣道種目打合せ ・議員協議会で説明 ・企画戦略課と打合せ（地域交通政策室）
12月	・第5回コーディネーター会議の開催 ・合同会議の開催　中間とりまとめ
2月	・運営団体と学校の連携強化会議の開催 ・吹奏楽地域クラブ打合せ ・全体説明会の開催　最終とりまとめ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		25クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		25クラブ（34部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	106人	全体の運営スタッフ数	30人

地域クラブ活動（融合型部活動）一覧表（令和7年9月）

No.	種目名	チーム名	運営団体	活動日	指導者数(兼職兼業)	参加者数	参加費(月)
1	バスケットボール	Hangout	(N)希楽々	月・水・土	8(1)	45	3,000円
2		村上RED HAWKS（男子）	(N)ウェルネスむらかみ	火・水・金・土	1	20	2,000円
3		村上Lachs BC（女子）		月・土	2	14	1,000円
4		荒川ジュニアクラブU15	(N)サンスマイルあらかわ	火・金・土	3	21	1,500円
5		Asahi Max ‘sU15（男子）	(N)愛ランドあさひ	月・火・木・金・土	4	13	3,000円
6		JC Palette（女子）		月・木・土	3	10	1,500円
7		山北BBC	(N)悠遊さんぽく	水。金・土	4(2)	12	1,000円
8	バレーボール	challengers村上MVC	(N)希楽々	月・水・木・土	6(2)	36	3,000円
8		ARAKAWA.VC	(N)サンスマイルあらかわ	木・土	2	14	500円
9		バレーボールクラブ	(N)愛ランドあさひ	火・金・土	3	10	1,500円
		NEXUS村上VC	(N)ウェルネスむらかみ	火・木・金・土	3	21	2,000円
10	ソフトテニス	きらら村上	(N)希楽々	月・水・木・土	5(2)	21	3,000円
11	軟式野球	NEXUS	(N)希楽々	月・金・土	4(1)	9	3,000円
12		朝日ベースボールクラブ	(N)愛ランドあさひ	金・土	3(1)	13	1, 000円
		村上東BC	(N)ウェルネスむらかみ	土	2(2)	12	500円
13	卓 球	神林TTC	(N)希楽々	火・土	5(2)	14	1,000円
14		荒川TTC	(N)サンスマイルあらかわ	火・木・金・土	3	15	2,000円
15		卓球クラブ	(N)悠遊さんぽく	月・火・木・土	6	4	2,000円
16	柔 道	村上市柔道教室	(N)ウェルネスむらかみ	木・土	4	6	1,000円
17	剣 道	剣道教室	(N)サンスマイルあらかわ	月・木・土	2		1,500円
18	サッカー	村上Lachs FC	(N)ウェルネスむらかみ	火・木・金・日	5	28	3,000円
19	陸 上	村上アドバンスアスレチッククラブ MaAC	(N)希楽々	土	18(1)	14	2,000円
20	バドミントン	Nexus村上	(N)ウェルネスむらかみ	水・土	3(1)	26	1,000円
21		サンスマイルBC	(N)サンスマイルあらかわ	木・土	8	22	1,000円

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
Hangout	総合型クラブ	バスケットボール	・平日　2回 ・休日　1回	平日 19～21 休日 13:30～16	1年　11 2年　24 3年　10	通年	9人	2人 （内、兼務2人）	3,000円 /月額	全て地域クラブ活動
村上Lachs FC	総合型クラブ	サッカー	・平日　3回 ・休日　1回	平日 17～19 休日 13～16	1年　10 2年　1 3年　18	通年	6人	2人 （内、兼務2人）	3,000円 /月額	全て地域クラブ活動
サンスマイルBC	総合型クラブ	バドミントン	・平日　1回 ・休日　1回	平日 19～21 休日 19～21	1年　10 2年　14 3年　3	通年	5人	2人 （内、兼務2人）	1,000円 /月額	全て地域クラブ活動
村上アドバンスアスレチッククラブMaAC	総合型クラブ	陸上	・休日　1回	休日	1年　2 2年　7 3年　3 ※小学生5	通年	17人	2人 （内、兼務1人）	2,000円 /月額	学校部活動
Challengers村上MVC	総合型クラブ	バレーボール	・平日　2回 ・休日　1回	平日 19～21 休日	1年　8 2年　15 3年　8	通年	2人	2人 （内、兼務2人）	3,000円 /月額	全て地域クラブ活動
村上東BC	総合型クラブ	軟式野球	・休日　1回	休日 9～12	1年　7 2年　5 3年　1	通年	3人	2人 （内、兼務1人）	500円 /月額	学校部活動
荒川TTC	総合型クラブ	卓球	・平日　3回 ・休日　1回	平日 16～18 休日 9～12	1年　4 2年　3 3年　12	通年	2人	2人 （内、兼務2人）	2,000円 /月額	学校部活動 8月から地域クラブ活動

2.実証内容と成果

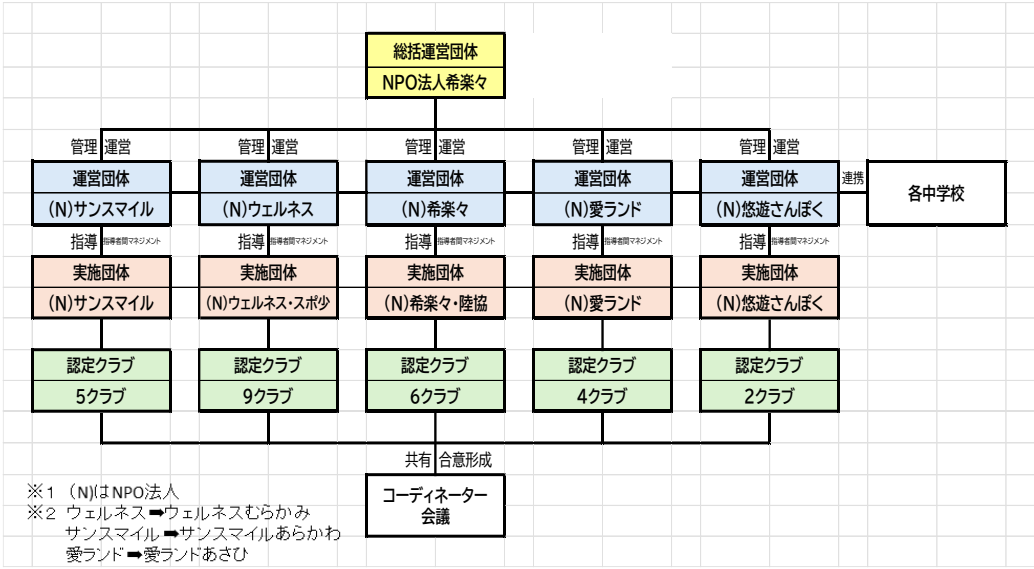
スポーツ庁

主な取組例

●認定地域クラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	10種目 バスケットボール、バレーボール、軟式野球 ソフトテニス、卓球、サッカー、陸上、柔道 剣道、バドミントン
運営団体名	総合型地域スポーツクラブ
期間と日数	平日及び休日 週2回から5回 通年開催
指導者の主な属性	スポーツ少年団、総合型クラブ 陸上競技協会
活動場所	総合体育館（指定管理） 学校開放施設（事業委託）他
主な移動手段	• 平日定期活動（放課後）、休日定期活動（市外施設利用）、大会参加についてはスポーツ振興車（総合型クラブ管理運営）を活用 • 夜間及び休日定期活動は保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	活動回数により 12,000円から36,000円（年額）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●市教育委員会
役割：部活動改革の責任主体、
コーディネーターを配置し、市全体の把握

●総括運営団体＝NPO法人希楽々
役割：市全体の地域クラブ活動の総括管理

●運営団体＝各総合型クラブ（5）
役割：地区の地域クラブ活動に総括管理

●実施主体➡主任指導者　1名
役割：指導のみならず、指導者間のマネジメントも行う。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

（1）コーディネーター会議の開催（定期）
- 最新情報の提供・・・国や県の方針等
- 運営団体としての合意形成・・・村上市の今後の方針について
- 各地区の活動状況の把握
- 課題抽出と解決方法の検討・・・各地区や種目の課題

（2）合同会議の開催
- 市全体の情報提供、共有
- 国や県2方向性
- 市の方針及び取組・・・令和8年度の体制や将来像等
- 各地区の取組状況
- 種目別ワークショップ・・・これからのカタチについて意見交換

取組の成果

（1）コーディネーター会議における成果
●拠点化の推進・・・少子化・持続化を見据え、拠点化を目指す
●参加費の統一化・・・週の活動回数に応じて参加費を設定
●指導者育成プログラム研修会の受講促進・・・令和8年度からは受講済の科目も含めて「毎年受講すること」とした

（2）合同会議における成果
●推進計画の理解促進・・・市推進計画の改定版の説明
●拠点化の理解
●各疑問内容の解決
●種目別ワークショップ

今後の取組における課題

令和8年度から市内中学校の全ての部活動が地域へ展開することから、新しいカタチの理解促進を図る。

各運営団体の温度差もあり、運営団体と指導者間の連携ができていない地区もあり、今後、さらに連携強化を図る必要がある。

また放課後の在り方を再考し、「アフタースクール活動」が令和8年度より始動する。初年度につき、改善しながら進めていきたいと思う。地域クラブ活動に参加しない生徒に参加してもらえるよう、学校と連携しながら取組む。

課題への対応方針

学校部活動がなくなることで、多方面で今までとは異なる環境となり、多分野において連携を図りながら地域クラブ活動のより良い環境整備を行う。

運営団体と学校との連携が大切で、定期的に連携会議を行い、情報共有、合意形成しながら進めていく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

（1）活動の明確化
（2）文化部の地域展開
（3）アフタースクール活動の構想及び計画
（4）完全展開後の体制整備
（5）認定制度の策定
（6）困窮世帯への支援制度の策定
（7）小学生の保護者への情報提供（各校での保護者説明会の開催）
（8）ハラスメント相談窓口の設置
（9）安全管理マニュアルの作成
（10）プラットフォーム構想

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

（1）合同会議における「種目別ワークショップ」の開催により、学校、地区を超えた地域クラブ活動の拠点化
（2）アプリを活用し、参加者への連絡、指導者間の連絡、さらには参加費の授受のキャッシュレス化を進める。
（3）コーディネーター会議で地域クラブ活動の運営の効率化に向けて話し合いを行う。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

〇運営団体・実施主体の役割の再確認
（1）「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営
（2）法令等に基づく事業運営、公正かつ適切な会計処理等に向けた具体的な取組内容
〇運営団体と実施主体の関係強化
（1）情報共有と課題検討

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

〇安全管理マニュアルの作成
（1）活動中の怪我や事故等の対応を含め管理責任の主体について
（2）事故等が発生した場合における保護者や関係機関等との適切な連絡調整

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

（1）指導者育成プログラム研修会の開催
- 公認資格の有無、教員免許の有無に関係なく、地域クラブ活動に関わる指導者等は運営団体であるNPO法人希楽々主催（市教育委員会共催）の【指導者育成プログラム研修会】の受講を義務化。運営団体で受講登録票を発行。
- 年8回開催（前期4回、後期4回）右図のとおり
- 初級、中級、ブロンズ、シルバー、ゴールド から8科目

（2）スポーツ少年団と総合型クラブの組織統合
NPO法人希楽々と神林地区スポーツ少年団の組織統合

取組の成果

（1）指導者育成プログラム研修会について
- 延参加者数は256名
- 地域クラブ活動指導者、教員、総合型クラブ職員、スポ少指導者
- 外部指導者、スポーツ推進委員、保護者が受講した。

（2）スポーツ少年団と総合型クラブの組織統合
- 令和7年度から、スポーツ少年団は総合型クラブと組織統合し、総合型クラブの中でジュニア部門として活動を行った。
- 同一組織内での活動により、指導体制も整備できた。

今後の取組における課題

令和2年から、新潟医療福祉大学と連携し、下記のプログラムで「指導者育成プログラム研修会」を実施してきたが、大学でプログラムの内容について検討を行う。

No.	資　格	科目名	形態	内　容
1	コーチ1（初級編）	地域スポーツ論	講義	地域スポーツ指導者の役割
2		スポーツ教育指導法Ⅰ	講義	スポーツの種目特性
3	コーチ2（中級編）	コーチングⅠ	講義・演習	スポーツ指導者の心構え
4		スポーツ教育指導法Ⅱ	演習	指導計画・内容・評価の立て方
5	ブロンズ（認定指導者）	コーチングⅡ	講義・演習	プレーヤーとの望ましい関係性
6		スポーツ心理学Ⅰ	講義	スポーツにおける動機づけ
7		スポーツ医学Ⅰ	講義	体の仕組みと動き
8		体力トレーニング論Ⅰ	講義	体力とは
9	シルバー（認定指導者）	コーチングⅢ	講義・演習	指導力量（声がけ、観察、態度、形態などの模擬指導）
10		スポーツ心理学Ⅱ	講義・演習	カウンセリング
11		スポーツ医学Ⅱ	講義	スポーツ活動中に多い怪我と予防
12		スポーツと栄養	講義	スポーツと栄養
13		体力トレーニング論Ⅱ	講義・演習	トレーニングの種類と進め方・コンディショニング
14	ゴールド（認定指導者）	コーチングⅣ	講義・演習	コーチング環境・対他者等
15		スポーツ心理学Ⅲ	講義・演習	メンタルトレーニング
16		対象に合わせた指導	講義	発育発達に合わせた指導、中高年・女性とスポーツ
17		運動学	講義・演習	運動スキルの獲得方法
18		スポーツと法	講義	スポーツ事故における指導者の法的責任

課題への対応方針

令和2年度から「指導者育成プログラム研修会」を開催してきたことで、受講済の科目について受講しない指導者もいることから、令和8年度から地域クラブ活動の認定制度で、「毎年受講すること」を義務付けた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

〇企業連携

市内企業からの指導者派遣の促進を考え、令和6、7年度村上市建設工事入札参加審査項目に、地域クラブ活動の指導者への休暇制度の導入状況における主観点の追加を行った。

地域クラブ活動における指導者を委嘱された者が、指導、試合等への随行を行う場合に取得可能な休暇を導入し就業規則等に定めている場合、評点（10点）を加算するとした。

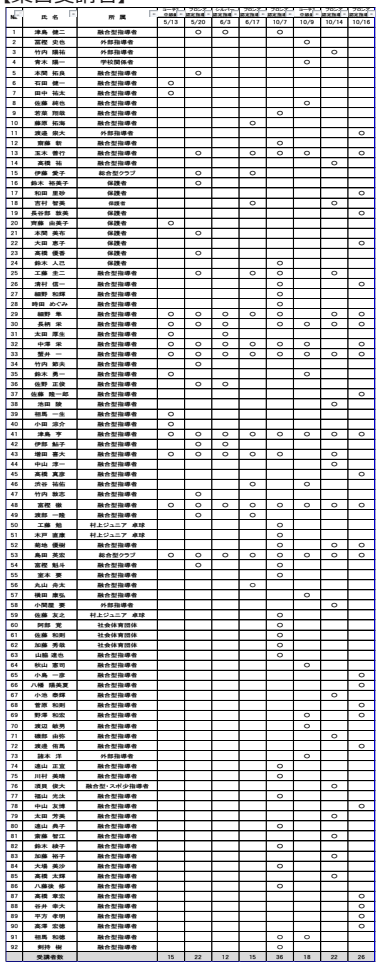
指導者研修の内容

令和7年度指導者育成プログラム研修会開催概要

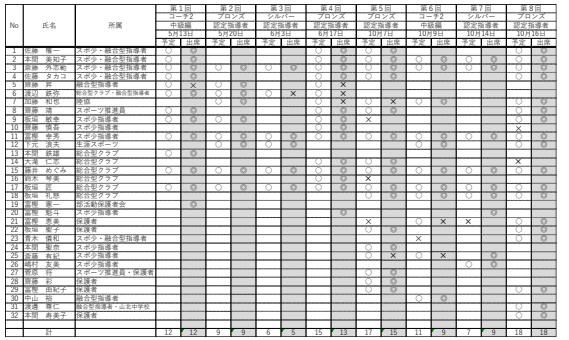
	回	開催日	曜日	資格	科目名	内 容	形態	講師
前期	1	5/13	火	コーチ2 中級編	コーチングⅠ	スポーツ指導者の心構え	講義 演習	西原康行
	2	5/20	火	ブロンズ 認定指導者	コーチングⅡ	プレーヤーとの望ましい関係性	講義 演習	西原康行
	3	6/3	火	シルバー 認定指導者	コーチングⅢ	指導力量（声かけ、観察、観察形態などの模擬指導）	講義 演習	西原康行
	4	6/17	火	ブロンズ 認定指導者	スポーツ医学Ⅰ	体の仕組みと動き	講義	松浦由生子
後期	5	10/7	火	ブロンズ 認定指導者	スポーツ心理学Ⅰ	スポーツにおける動機づけ	講義	山崎史恵
	6	10/9	木	コーチ2 中級編	スポーツ教育指導法Ⅱ	指導計画・内容・評価の立て方	演習	鈴俗美智子
	7	10/14	火	シルバー 認定指導者	スポーツ心理学Ⅱ	カウンセリング	講義 演習	山崎史恵
	8	10/16	木	ブロンズ 認定指導者	体力トレーニング論Ⅰ	体力とは	講義	佐藤敏郎

指導者研修受講状況

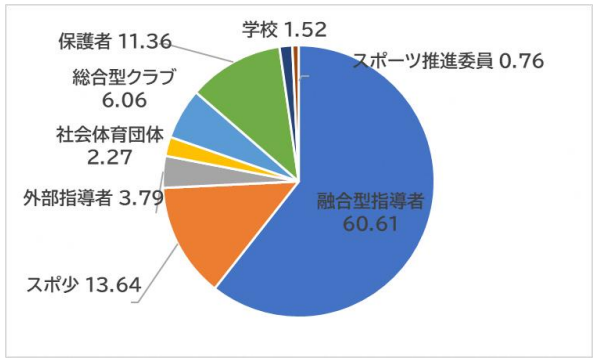
【集合受講者】



【リモート受講者（山北地区）】



【受講者内訳】



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者の資格取得促進に向けた取組

総合型クラブ主導で、令和2年度から実施してきた「指導者育成プログラム研修会」は新潟医療福祉大学と連携し、大学監修のプログラムを基に実施してきた。

令和元年度から始動した「融合型部活動」について、認定要件を設け、活動してきたが、その認定要件の1つに、指導者育成プログラム研修会を受講することと受講の義務化を図ったきた。

総合型クラブ主催で開催し、受講記録を「受講登録票」として発行している。

大学が拠点校となって、日本スポーツ協会の公認資格につなげていく方向で動いて、過去の受講歴も含めて進めていく予定である。

村上市独自のライセンス制度として実施してきたが、結果、日本スポーツ協会の公認資格取得につながることができる。

平日・休日の一貫指導に関する取組

当市は総合型クラブ主導で取組を行ってきたので、休日からという発想はなく、最初から平日・休日の活動を行うことで取り組んできました。

結果、平日と休日の指導体制が異なることなく、活動しているので一貫指導体制による指導体制が完成している。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

〇運営団体と学校の連携強化会議の開催

認定制度の要件にもあるように、学校との連携について取組んだ。

特に村上市では令和8年度から全ての学校部活動がなくなることから、学校の意識として、地域活動なので学校は関係がなくなると認識している方もおり、さらに連携を強化することが必要であること、今年度の取組事例、令和8年度の連携体制について意見交換を行った。

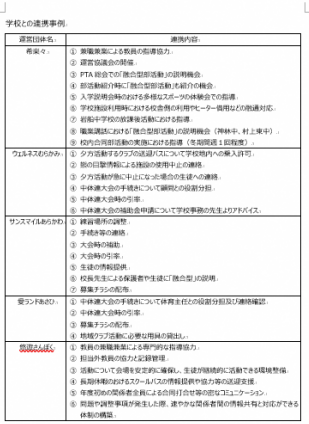
運営団体はサブコーディネーターや指導者等、学校は校長、教頭、教務主任等29名の出席だった。

取組の成果

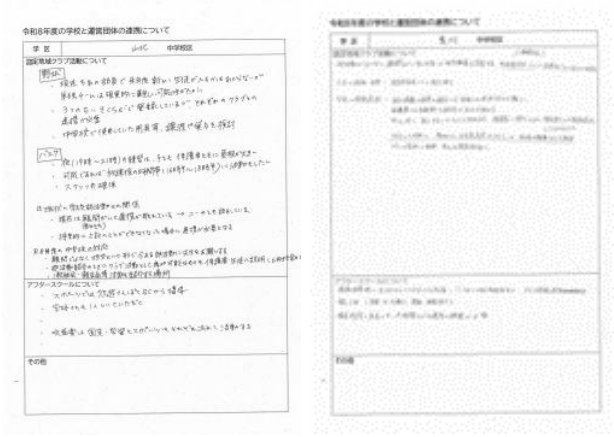
〇国の総合的なガイドラインについて説明し、理解を得ることができた。
〇市の推進計画について説明し、理解を得ることができた。
〇認定制度について説明し、特に学校との連携を強調し、理解を得ることができた。
〇新しく始動する「アフタースクール活動」についても説明し、放課後の多様なスポーツ活動について、総合型クラブに指導を依頼する学校もあった。
〇各地区で具体的な連携体制について話し合い、令和8年度に向けて合意形成することができた。

具体的な打合せ内容（1例）

【令和7年度の実践事例】



【令和8年度の連携内容】



今後の取組における課題

学校によって地域クラブ活動に対する温度差がある。
また放課後の「アフタースクール活動」についても同様で、学校の考え方により活動内容も様々である。

課題への対応方針

各運営団体と学校で定期的に話し合いの場を設けること、また市全体で連携強化会議を開催し、学校の温度差を少しずつ解消していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

地域公共交通との連携に関する取組

重点地域の指定を受け、村上市ではスポーツ振興車を活用し、平日放課後の迎えや大会参加の送迎を行ってきた。

と同時に、今年度は公共交通「コミュニティバス」の利用について、乗降場所や運行時間等の話し合いを行った。

関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組

重点地域の指定を受け、障がい者のスポーツ機会の創出について、特別支援学校連携「楽しい体育」や放課後等デイサービス事業所連携「楽しい運動教室」の指導について村上市スポーツ推進委員協議会から関わった。

まちづくりと連携した取組

学校と地域を結ぶオープンセッションに参加し、グループワークでは放課後の在り方について話し合った。またフォローアップセミナーにおいて、「アフタースクール活動」についてお話しさせていただき、地域の人の関わりについて多様な声をいただいた。

このオープンセッションは中学生、高校生や地域の団体、コミュニティスクールのコーディネーターも参加している。

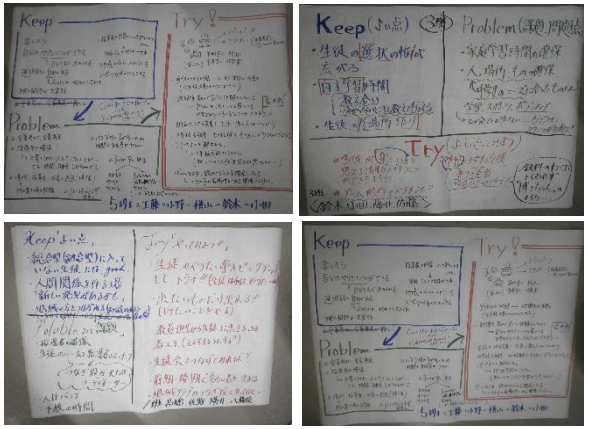


【オープンセッションの様子】

放課後の有意義な活用「アフタースクール構想」

目的	学びの時間の確保 地域クラブに参加しない生徒の活動の保障 文化活動を希望する生徒の保障
体制	学校管理下
活動日・時間	平日週2～3日　30分をめやすとする　※勤務時間内とする
内容	学習・文化・吹奏楽・スポーツなど多様な取組とする 各校で決定
実施体制	指導者を配置して行う活動 生徒の自主活動を見守る活動
指導	地域の人材の活用
対象者	原則希望制とするが各校で決定

【説明したアフタースクール活動】



【フォローアップセミナーのシート】

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

〇令和8年度からの体制について、市全体で共有する場として「合同会議」を開催した。

・今年度の中間報告
・国、市の方針について
・市の認定制度について
・困窮世帯への支援、ハラスメント相談窓口の設置、安全管理等について
・アフタースクール活動について

上記内容で説明後、種目別に分かれ、「これからのカタチ」を考えた。

〇出席者は、学校関係者、地域クラブ活動指導者、運営団体、行政50名が参加した。

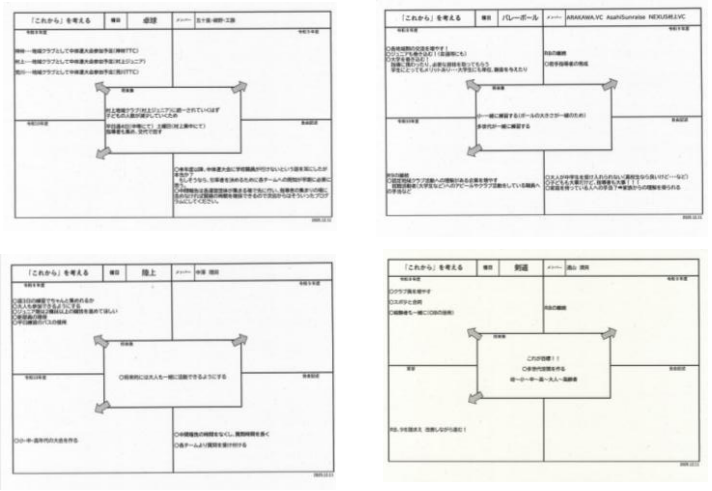
取組の成果

〇国や市の方向性について理解を得ることができた。

〇指導者の中には疑問点があったようで、質問に対して回答し、納得いただくことができた。

〇市として少子化、持続化を考え「地域クラブの拠点化」を目指していることから、種目間では今まで反対していた種目も、将来像としては「小中環境の整備」や「多世代」等のキーワードも出て、少しずつ、将来像が共有されていると感じることができた。

種目別WS「これからシート」の1例



今後の取組における課題

「地域クラブの拠点化」を進めていく上で、現状、生徒数が揃っていることから将来像としては理解しているものの、今すぐの危機感はない。

しかし、少子化のみならず、持続化を考えた時にそんなに遠いものではない。

課題への対応方針

運営という視点で、種目間のWSを定期的に開催し、「拠点化」に向けて取組んでいく。

指導者のみならず運営団体の意識も同様である。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

市区町村等を越えた取組

〇部活動地域移行担当者連携協議会（下越地区）の開催

地域展開を進めていくにあたり、それぞれの市町村における進捗状況や課題について情報交換を行うことを目的として開催された。

- 各市町村の進捗状況について
- 移動手段について
- 生徒の参加費、指導謝金について
- 大会参加費について
- 受益者負担と公的負担のバランスについて

上記の内容で行われました。

参加市町村は

村上市、新発田市、五泉市、阿賀野市、佐渡市、胎内市、聖籠町、阿賀町、関川村、粟島浦村の6市2町2村

〇中体連大会参加に伴う補助状況の調査

中体連大会参加に伴う補助も市町村により異なっている。

市外から参加する地域クラブチームの場合、同じチームでも同じ中学生でも補助状況が異なることから不公平感が生じる。

自市町村の財源で補助するので、市外の生徒には補助できないという現状です。ここを何とかしていけないか、今後も意見交換を行います。

【中体連大会参加に伴う補助状況】


中体連大会参加に伴う補助状況(R6の事例を踏まえたR7の対応)

市町村	地域クラブの対応	参加費			交通費			宿泊費			備考	同行者の対応
		地区	県	北信越・全国	地区	県	北信越・全国	地区	県	北信越・全国		
村上市	学校部活動と同等	全額			全額			1/2 ※上限3,500円(1泊)			負担金、輸送費(車両)	参加者同等 ※補助内容検討
胎内市	学校部活動と同等	半額	2/3	全額	半額	2/3	全額	半額	2/3	全額		補助対象外 ※公欠扱い
新発田市	学校部活動と同等	1/3	半額	全額	1/3	半額	全額	1/3	半額	全額		補助対象外 ※公欠扱い
関川村	学校部活動と同等	全額		事例なし	村バス運転 ※1	全額	事例なし	※1	半額	事例なし		参加者同等 ※補助検討
中等教育学校	学校部活動と同等	全額			上限4,000円							参加者同等 ※補助検討

※1 佐渡市で開催されるバスケットボール大会については昨年度の事例をもとに検討

※2 新発田市の地区大会については佐渡市のみの対応 佐渡市以外の個別は補助なし

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

地域クラブ活動の陸上種目について、村上アスレチックアドバンスクラブ「MaAC」として活動している。

その中で、障がい者の受入を行い、「楽しい陸上教室」として同時開催し、健常児と一緒に活動したり、また障がい者に専属で指導したりとインクルーシブな活動を行っている。

さらには、特別支援学校高等部を卒業した男性が継続を希望し、多世代の空間を目指していることから受入をして活動した。

今後の取組における課題

今後、障がいの程度により、どこまで対応できるかが課題である。

障がいを有する子どもたちの立場にたって考えることが必要で、ハードルを下げ、同じことの繰り返し、少しずつ進化していくことが必要である。

そして児童生徒が学校等を卒業しても継続できる環境があることが必要です。

そのために、それを支える人が必要である。

当事者として多様な組織や人と融合していくことがこれからの課題です。

取組の成果

健常児と一緒に活動する場面があり、障がいを持つ男性も、他の生徒とコミュニケーションを図りながら活動していた。

【参加者の声】

陸上教室楽しくやっています。他の学校の生徒とも交流ができてよかった。

長距離は大変だったけれど走り切れてよかった。これからも続けたい。

【指導者の声】

自ら指導者や生徒に挨拶をし、会話していた。

できなかった動きづくりをしっかり聞いて理解して行動している。

生徒たちと励まし合いながら積極的に練習している。

課題への対応方針

障がいのある子どもたちの多様なスポーツを場を考えた時に、指導及び安全管理体制を持続することである。

そのためにも、指導者の育成と連携体制の構築が必要である。

指導体制を整備し、個別対応もできるよう、場合によっては健常児との活動も行っていけるよう進めていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターと連携し、地域クラブ活動に参加する生徒のケアコンディショニングサポートを受けた。

健康づくり・スポーツ医科学センターの在り方検討委員会のメンバーとなり、今後施設の在り方について、総合型クラブとの連携を提案させていただいた。

その1つとして前述の取組を実施した。

センターからも今後の取組として考えていただき、地域クラブ活動に参加する生徒への怪我予防や栄養について、実技指導などを行った。

取組の成果

体力測定や数値化できるデータをいただくことができた。

これは医科学センターだからできること。

- 体力、動作、姿勢の簡易チェックを行い、結果を分かりやすく説明
- 体組成測定（筋肉量、脂肪量等）
- 怪我をしないための動的、静的ストレッチング
- パフォーマンスアップを目指した体幹・下肢トレーニング
- 良い姿勢づくり

今後の取組における課題

今年度は1つの地域クラブ活動を対象に行った。

令和8年度については、各地区で行えるよう取組んでいきたいと考えている。

新潟市内になる施設であり、会場までの送迎や指導を受けるための費用が必要となる。

運営団体や指導者、保護者の理解が必要である。

課題への対応方針

医科学センターに出向き、指導を受けることの他、当市に出張で来ていただき、できるだけたくさんの生徒等に参加してほしい。

また生徒や保護者を対象に、専属の栄養士からの栄養指導等も行っていただく予定である。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

令和4年度から全市で地域クラブ活動を実施してきた。

地区や運営団体、また種目により参加費が様々で不公平感があった。

国のガイドラインから、休日の活動については2,000円から3,000円をめやすをするとした。

村上市では事前に保護者へのアンケートで、「月額いくらなら払うことが可能か」という問いに、3,000円が多数意見だった。

取組の成果

〇村上市では休日、平日活動でめやすを3,000円とし、週活動回数により参加費を定めた。

・週1～2回　2,000円/月
・週3～4回　3,000円/月
・週5回　4,000円/月

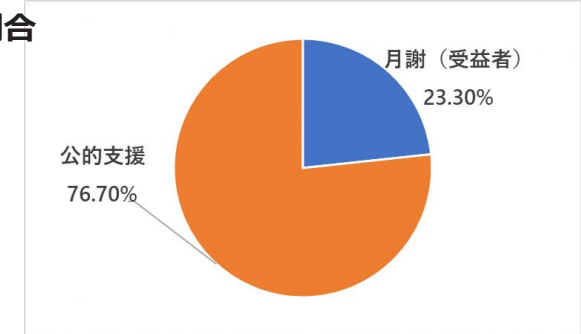
〇認定地域クラブ活動に対する支援も検討した。

収支バランス

受益者負担と公的支援の割合

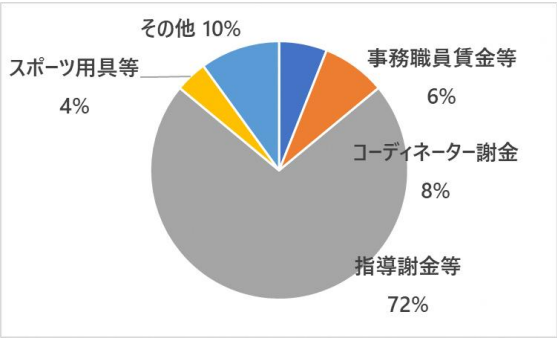
参加費統一をする前の参加費による受益者負担率は23.3%。

令和8年度からも受益者負担率が増加する見込み。



経費の内訳

経費内訳は72%が指導謝金である。指導謝金については今後の自走化も踏まえ、時給700円と安価な設定をしていたが、それでもこの割合となる。



課題への対応方針

公的支援がなくなっても持続していく仕組みが必要。

そのための1歩が、拠点化である。

そして多世代化を図り、会費で運営していけるカタチを将来像としている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

地域クラブ活動の利用施設については、指定管理を受けている総合体育館等、また学校開放施設として管理受託している学校施設が90.91%を占める。

地域クラブ活動の優先利用が可能となっている。

また地域クラブ活動の利用は使用料が免除となっている。

しかし、陸上は市外施設を活用していることから、市外者のため、有料となっている。広域連携が必要である。

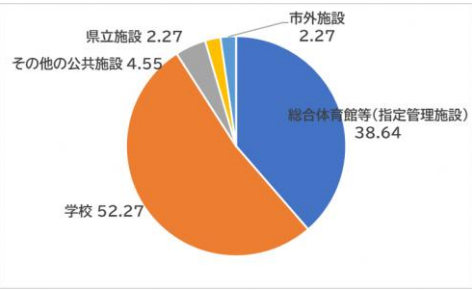
取組の成果　今後の取組における課題

村上市の場合、施設の利用については大きな問題はない。

ただし、屋外種目については、雨天時や冬期間の利用、またナイター設備の課題がある。

No.	運営団体	実施主体	チーム名	種 目	活動場所
1	NPO法人希楽々	NPO法人希楽々	Hangout	バスケットボール	神林総合体育館 神林中学校 岩船中学校
2			きらら村上	ソフトテニス	荒川グリーンパーク 瀬波テニスコート 平林体育館 神林総合体育館
3			NEXUS	軟式野球	神林中学校 神林多目的グラウンド 平林体育館
4			神林TTC	卓球	神林中学校
5			challengers村上U14(女子)	バレーボール	神林総合体育館 神林中学校 岩船中学校
6			challengers村上U14(男子)	バレーボール	神納小学校 平林小学校
7		村上市陸上競技協会	MaAC	陸上	胎内市陸上競技場 神林総合体育館
8	NPO法人ウェルネスむらかみ	スポーツ少年団	村上市柔道教室	柔道	村上第一中学校 村上東中学校
9		NPO法人ウェルネスむらかみ	村上RED HAWKS	バスケットボール（男子）	村上第一中学校
10			村上Lachs FC	サッカー	村上東中学校 三面川東河川公園
11			村上Lachs BC	バスケットボール（女子）	村上東中学校
12			Nexus村上	バドミントン	村上第一中学校
13			村上東BC	軟式野球	村上東中学校 山辺里第二体育館
14			NEXUS村上VC	バレーボール（女子）	山辺里小学校 瀬波体育館
15	NPO法人サンスマイルあらかわ	NPO法人サンスマイルあらかわ	荒川TTC	卓球	荒川総合体育館
16			ARAKAWA.VC	バレーボール	荒川中学校
17			サンスマイルBC	バドミントン	荒川総合体育館
18			荒川ジュニアクラブU15	バスケットボール	荒川中学校 岩船中学校
19			剣道教室	剣道	荒川総合体育館
20	NPO法人愛ランドあさひ	NPO法人愛ランドあさひ	Asahi Sunrise VC	バレーボール	朝日総合体育館 朝日中学校
21			Asahi Max's U15	バスケットボール（男子）	朝日総合体育館 朝日中学校
22			朝日ベースボールクラブ	軟式野球	朝日中学校 屋根付き多目的ドーム
23			JC Palette	バスケットボール（女子）	朝日総合体育館 朝日中学校
24	NPO法人悠遊さんぽく	NPO法人悠遊さんぽく	卓球クラブ	卓球	山北総合体育館 山北中学校
25			山北BBC	バスケットボール（男子・女子）	

利用施設内訳



2.実証内容と成果

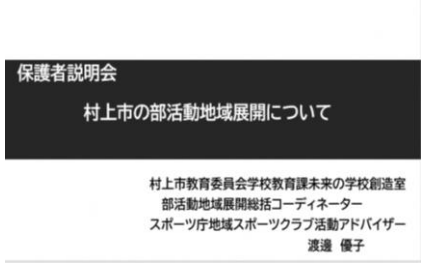
取組内容

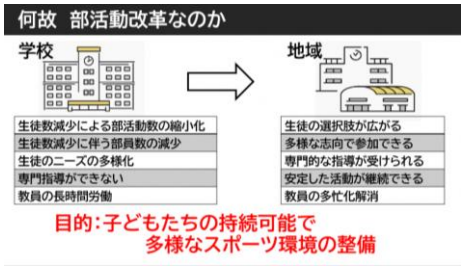
●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

部活動地域展開について、中学校においては多様な説明機会があったが、小学生の保護者に対しての情報提供の場が少なかったため、小学生の保護者を対象に各小学校で説明会を開催した。

単発の開催では多くの人の参加が見込まれないことから、学校の行事に合わせて説明会を開催した。





取組の成果

小学生の保護者に対して、これからの村上市の部活動地域展開について説明することができた。

その場で質問も受け、応答させていただいた。

保護者説明会日程

No.	月日	曜日	時間	学校名
1	9月19日	金	14:40～	村上南小学校
2	10月17日	金	15:20～	朝日みどり小学校
3	10月23日	木	12:10～	神納小学校
4	10月24日	金	14:45～	瀬波小学校
5	10月25日	土	9:00～	金屋小学校
6	11月 1日	土	11:40～	朝日さくら小学校
7	11月 6日	木	14:45～	保内小学校
8	11月 9日	日	14:30～	小川小学校
9	12月 5日	金	14:20～	さんぽく小学校
10	1月16日	金	14:45～	村上小学校
11	1月20日	火	13:15～	岩船小学校
12	1月21日	水	15:00～	山辺里小学校
13	2月 4日	水	14:20～	平林小学校

今後の取組における課題

小学生の保護者に対しては、今回の説明会に参加していない方もおりますので、今後も情報共有していきたい。

課題への対応方針

今年度同様、小学校の学校行事に合わせて、説明する機会を設けていきたい。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 今年度を持って、市内中学校において、運動部及び文化部の休日・平日の学校部活動の全てを地域クラブ活動へ完全展開することができた。
- 村上市立中学校の部活動地域展開推進計画を改定した。今まで「融合型部活動」としていたが、令和8年度からは「認定地域クラブ活動」と呼ぶ。
- 文化部について検討を行い、吹奏楽について令和8年度から休日は地域クラブ活動として実施する。
- 融合型部活動の公認条件を引き継ぎ、村上市の認定制度の策定した。令和8年2月より認定申請を開始し、26クラブが認定クラブとなった。
- 村上市認定地域クラブ活動の支援に関する要綱を作成した。令和8年度から施行する。
- 村上市認定地域クラブ活動に関するハラスメント相談窓口の設置要綱を作成し、令和8年度から施行する。
- 村上市認定地域クラブ活動安全管理マニュアルを作成した。
- 学校部活動の参加率、地域クラブ活動の参加率が低いことから、誰一人取り残さない環境を目指し、学校の放課後について再考し、市内全中学校で「アフタースクール活動」を令和8年度から実施することとした。

●成果の評価

R8認定地域クラブ一覧

No.	種目名	チーム名	運営団体	活動日	指導者数（兼職兼業）	参加予定数	参加費（月）	週回数	適切配置数
1	バスケットボール	Hangout	(N)希楽々	月・水・土	8(1)	45	3,000円	3	4
2		村上RED HAWKS(男子)	(N)ウェルネスむらかみ	火・水・金・土	2	20	3,000円	4	2
3		村上Lachs BC(女子)		月・水・金・土	3	15	3,000円	4	3
4		荒川ジュニアクラブU15	(N)サンスマイルあらかわ	火・金・土	4	23	3,000円	3	3
5		Asahi Max's U15	(N)愛ランドあさひ	月・火・木・金・土	4	15	4,000円	5	3
6		JC Palette		月・木・金・土	3	10	3,000円	4	2
7		山北BBC(男女)	(N)悠遊さんぽく	水・金・土	4(2)	13	2,000円	2	4
8	バレーボール	challengers村上(女子)	(N)希楽々	月・水・木・土	2(1)	16	3,000円	4	2
9		challengers村上(男子)		火・木・土	2(1)	10	3,000円	3	2
10		ARAKAWA.VC	(N)サンスマイルあらかわ	木・土	2	12	2,000円	2	2
11		Asahi Sunrise VC	(N)愛ランドあさひ	火・金・土	3	6	3,000円	3	2
12		NEXUS村上VC	(N)ウェルネスむらかみ	火・木・金・土	3	25	3,000円	4	3
13	ソフトテニス	きらら村上	(N)希楽々	月・水・木・土	4(2)	20	3,000円	4	3
14	軟式野球	NEXUS	(N)希楽々	月・金・土	5(2)	11	3,000円	3	3
15		朝日ベースボールクラブ	(N)愛ランドあさひ	金・土	4(1)	13	2,000円	2	3
16		村上東BC	(N)ウェルネスむらかみ	火・水・木・金・日	3(1)	15	4,000円	5	3
17	卓球	神林TTC	(N)希楽々	火・木・土	5(1)	20	3,000円	3	3
18		荒川TTC	(N)サンスマイルあらかわ	火・木・金・土	2	6	3,000円	4	2
19		卓球クラブ	(N)悠遊さんぽく	月・火・木・土	6(2)		3,000円	4	2
20		村上ジュニア	(N)ウェルネスむらかみ	月・火・木・金・土	6	16	4,000円	5	4
21	剣道	剣道教室	(N)サンスマイルあらかわ	月・木・土	2	2	3,000円	3	2
22	サッカー	村上Lachs FC	(N)ウェルネスむらかみ	火・木・金・日	6(1)	24	3,000円	4	4
23	陸上	MaAC	(N)希楽々	火・木・土	17(2)	15	3,000円	3	6
24	バドミントン	Nexus村上	(N)ウェルネスむらかみ	火・木・土	4(1)	25	3,000円	4	3
25		サンスマイルBC	(N)サンスマイルあらかわ	月・木・土	5	27	3,000円	3	4
26	吹奏楽	村上ジュニアウインド	(N)希楽々	土	3(2)		1,000円	1	2

●今後に向けて

R8からの「新しいカタチ」

期間			改革推進	改革実行（前期）			改革実行（後期）			将来像
年度	活動名	活動日	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
運動部	学校部活動	平日	△	×	×	×	×	×	×	地域多世代クラブ
		休日	×	×	×	×	×	×	×	
	地域クラブ活動	平日休日	○	○	○	○	○	○	○	
文化部	学校部活動	平日	○	×	×	×	×	×	×	
		休日	○	×	×	×	×	×	×	
	地域クラブ活動	休日		○	○	○	地域多世代クラブ			
アフタースクール活動		平日	△	○	○	○	地域活動			

2.実証内容と成果②

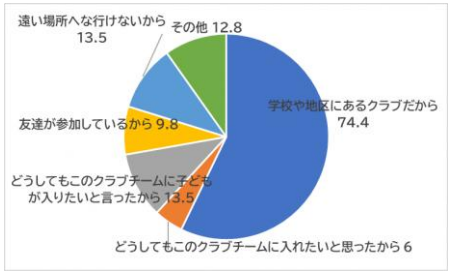
スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

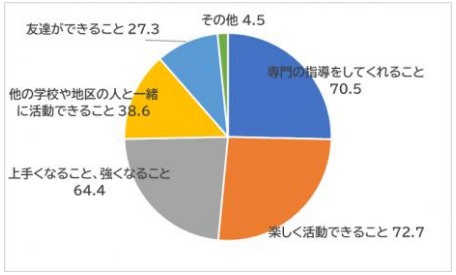
●アンケート結果

保護者

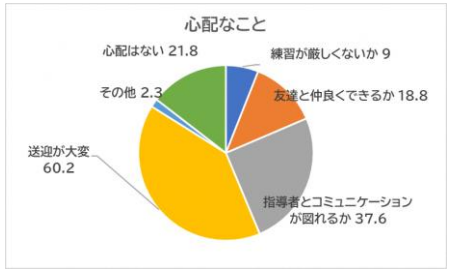
Q.クラブチームを選択した理由は何ですか



Q.クラブチームに期待することは何ですか



Q.クラブチームについて心配なことは何ですか

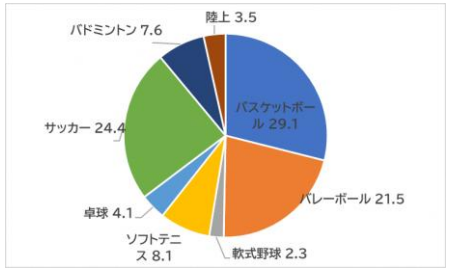


その他

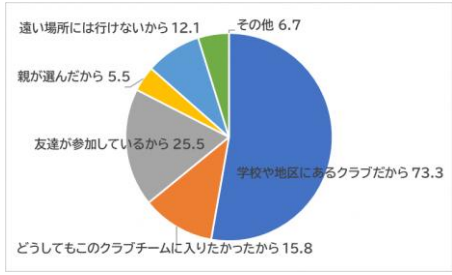
- 学業との両立
- 月謝がかかる
- 激励会の各学校の対応の違い
- 練習量が少なくなること
- 仲間との連携
- 毎回の送迎

参加者

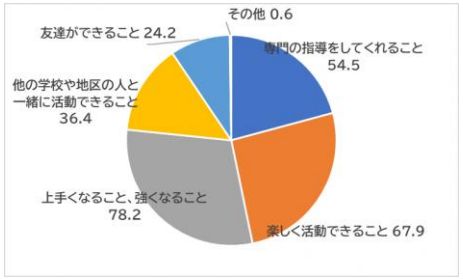
Q.何の種目に参加していますか



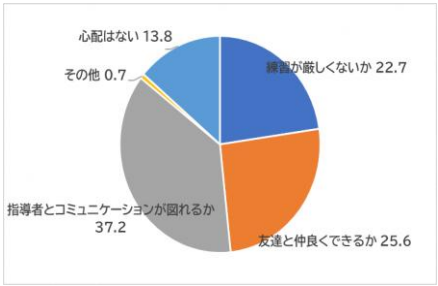
Q.クラブチームを選択した理由は何ですか



Q.クラブチームに期待することは何ですか



Q.クラブチームについて心配なことは何ですか



2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料





【地域クラブ募集チラシ（運営団体：希楽々）】



【地域クラブ募集チラシ（運営団体サンスマイルあらかわ）】



【剣道教室の活動の様子】



【Challengers村上の活動の様子】

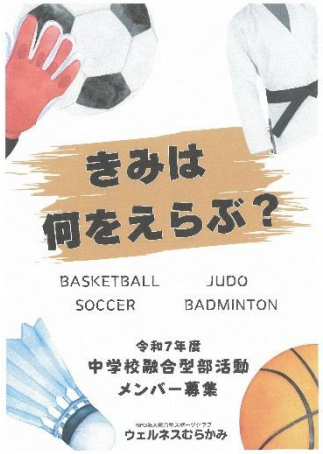


【ARAKAWA.VCの活動の様子】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

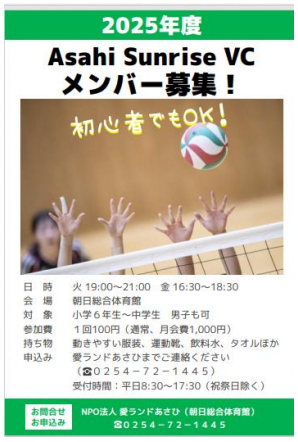
参考資料





【地域クラブ募集チラシ（運営団体ウェネスむらかみ）】







【地域クラブ募集チラシ（運営団体愛ランドあさひ）】



【村上Lachs BCの活動の様子】



【JC Paletteの活動の様子】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【地域クラブ募集チラシ（悠遊さんぽく）】



【卓球クラブの活動の様子】



【指導者育成プログラム研修会】



【小学生保護者説明会】

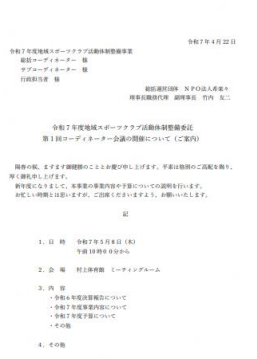


【新潟県医科学センター連携「ケアコンディショニング」】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料





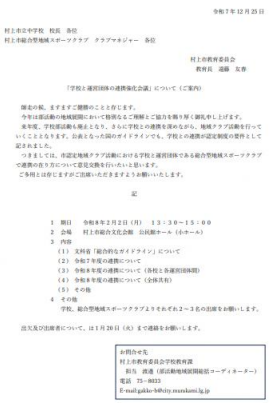
【コーディネーター会議】



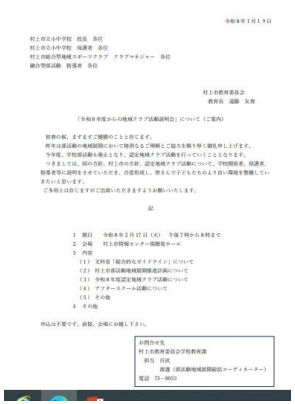


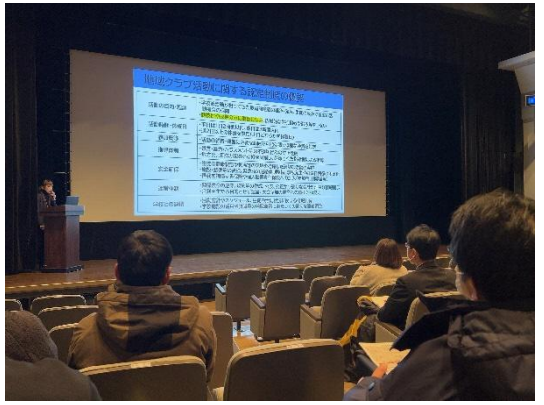
【合同会議】





【運営団体と学校の連携強化会議】





【村上市全体説明会】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

平成25年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度
新しいカタチの部活動	融合型部活動	検討会議の設置	融合型部活動第1号	全市で融合型の啓発	総括運営団体・総括コーディネーター配置	拠点化の推進 今後のカタチ

【新しいカタチの部活動の実践】
・部活動にない種目の取組
・JGBC（女子バスケ）
・学校、保護者、希楽々で話し合い、今後の部活動の在り方を考え「新しいカタチ」とネーミング。
・財源はないため、僅かな受益者負担と希楽々負担で運営。
・所有のバスで迎え、総合体育館で週4日、市内3校17名で活動。
・種目のみならず、希楽々のイベントにボランティア参加。多世代交流から社会性を学ぶ。
・国の方向性もない中、「子どもが困っている」ことを何とかしたいと思い取組んだ。

【融合型部活動の構想】
・学校が関与する地域の活動「融合型部活動」を構想。新しいカタチの部活動が前身。
・「融合型部活動運営協議会」の設置。学校、地域、保護者、行政で構成。
・コーディネーターの配置。
・年3回の会議開催。
・実態調査や意向調査の実施。
・「融合型部活動」のイメージが伝わらず。
・種目別ワークショップの開催で、種目ごと、違う立場、同じ子どものことについて話し合うことでポジティブシンキングに変わる。
・国費と希楽々先行投資で取組む。

【融合型部活動の実践】
・令和元年度に融合型部活動第1号「Hangout」が誕生。
・イメージの見える化ができ、令和2年度にはソフトテニス「KSTC」、令和3年度には軟式野球「NEXUS」が誕生。
・令和3年度から、誕生した3種目について休日の地域移行を行った。
・融合型部活動の指導者に受講の義務化を図り、「指導者育成プログラム研修会」を開催。
・多様なスポーツの啓発としてチラシの配布や多様なスポーツ体験会の開催。
・校内合同部活動を自主財源での実施

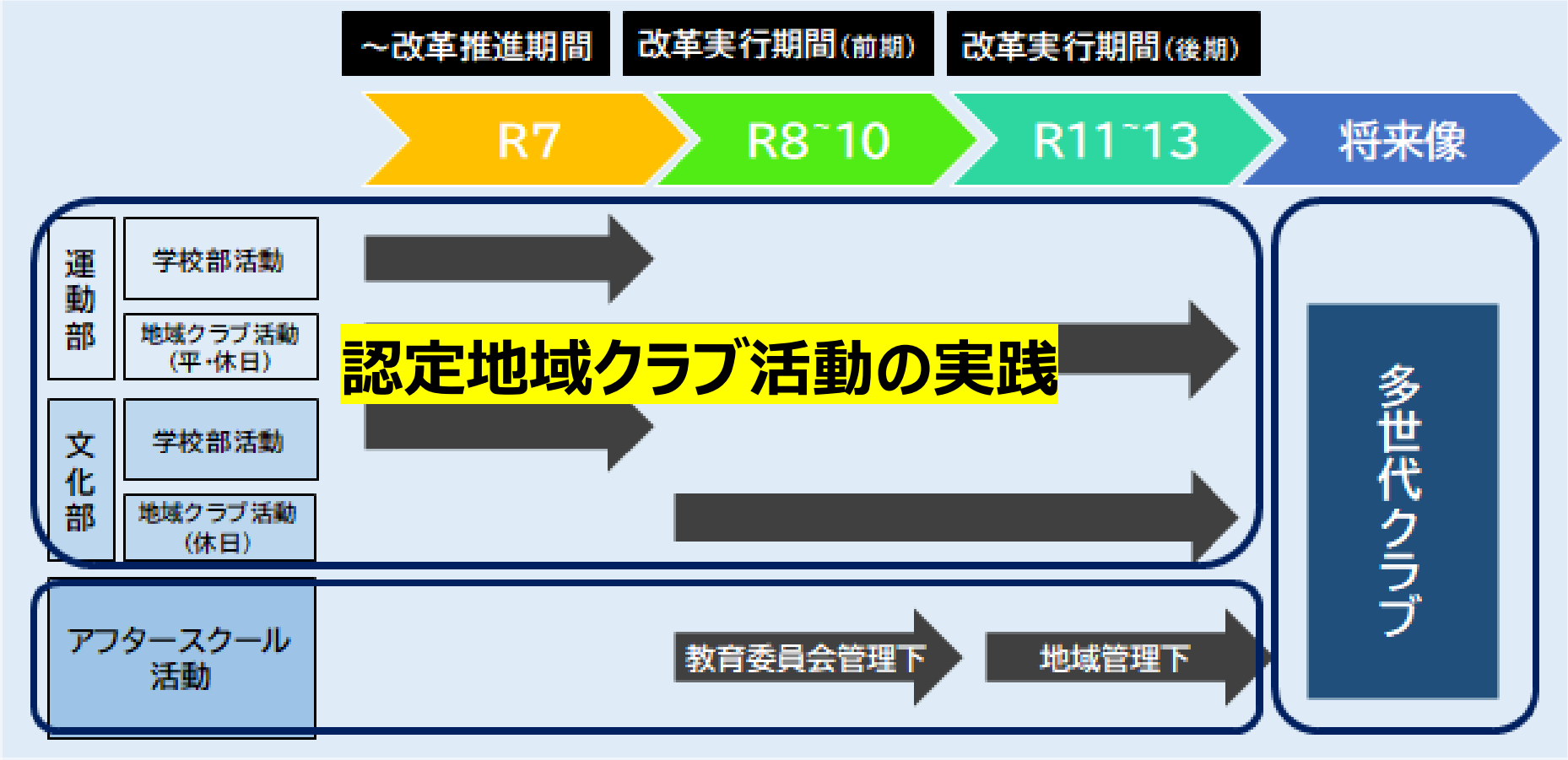
【推進体制の提案】
・令和3年度に希楽々から推進体制の提案
・総括運営団体
・総括コーディネーターの配置
・市へ予算要求
・令和4年度から、提案した推進体制で動いた。
・市内各地区で「融合型部活動」の試行検証に取組んだ。
・令和4年度「市の部活動地域移行推進計画」を策定。それは融合型部活動の推進。
・総合型クラブを運営団体とし、その指導者は研修会の受講義務化を盛り込んだ。
・先行している学校には「学校の方針」も策定してもらった。

【融合型の拠点化と令和8年度からのカタチの明確化】
・市内には20の融合型部活動が誕生。
・指導者育成プログラム研修会は融合型指導者のみならず、教員、保護者も受講、100名を超えるも申し込み。
・休日のみならず、平日も活動
・少子化、持続的な活動を考え、「融合型部活動の拠点化」を提案。
・令和8年度からの市の方向性も提案
「村上市は、運動部活動は休日及び平日も、全ての部活動がなくなる」
・合同会議及び種目別WZSで今後のカタチを考える。
・ソフトテニスは拠点化を図り、令和7年度より1チームで活動。
・小中の環境整備（令和7年度よりスポ少との組織統合）

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



認定地域クラブ活動の参加促進を図りつつ、地域クラブに参加しない子どもたちの活動の場を創出する。当面3年間は教育委員会管理下で活動の場を創る→自主活動→企画運営というナビゲートを行う。その後、地域管理下へ移行し、自分のやりたいことを行う空間とする。

さらに将来像は、幼児から高齢者までの多世代クラブを構想している。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

将来構想「子どもから大人までの多世代クラブ」

